

平成19年度
佐賀大学大学院工学系研究科 数理科学専攻
入学試験問題

専門科目（線形代数学，微分積分学）

注意事項：

- 全問解答すること。
- 解答紙は裏も使用してよい。
- 各問題につきそれぞれ異なる解答紙を用い，各解答紙の所定の欄に受験番号を，左上隅に解答した問題の番号を記入すること。
- 解答紙はすべて提出すること。
- 問題紙は面接の際に提出すること。

問 題 紙

佐賀大学大学院工学系研究科

平成 19 年度佐賀大学大学院工学系研究科 (博士前期課程)
入 学 試 験 問 題

科目名

専門科目

(そ の 一)

数 理 科 学 専 攻

1 実数 a について ,

$$\mathbf{x}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ a+1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_3 = \begin{pmatrix} 2 \\ 4 \\ 2a \\ 2 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_4 = \begin{pmatrix} 1 \\ 3a-4 \\ 2a-1 \\ a-1 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_5 = \begin{pmatrix} 2 \\ a^2 \\ 2 \\ a \end{pmatrix},$$

とおく . 以下の問に答えよ .

- (1) 行列 $A = (\mathbf{x}_1 \ \mathbf{x}_2 \ \mathbf{x}_3 \ \mathbf{x}_4 \ \mathbf{x}_5)$ の階数 $\text{rank}(A)$ を求めよ .
- (2) $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2, \mathbf{x}_3, \mathbf{x}_4, \mathbf{x}_5$ によって生成される \mathbf{R}^4 の部分空間

$$L = \{c_1\mathbf{x}_1 + c_2\mathbf{x}_2 + c_3\mathbf{x}_3 + c_4\mathbf{x}_4 + c_5\mathbf{x}_5 \mid c_1, c_2, c_3, c_4, c_5 \in \mathbf{R}\}$$

の次元と 1 組の基底を求めよ .

問 題 紙

佐賀大学大学院工学系研究科

平成 19 年度 佐賀大学大学院工学系研究科 (博士前期課程)
入 学 試 験 問 題

科目名

専門科目

(その二)

数 理 科 学 専 攻

2 n 次の実行列 A とベクトル $x, y \in \mathbf{R}^n$ に対し

$$\langle x, y \rangle_A := \langle x, Ay \rangle (= x^t Ay)$$

により $\langle x, y \rangle_A$ を定義する．ただし，上の式の右辺の $\langle \cdot, \cdot \rangle$ は \mathbf{R}^n の標準内積である．このとき，次の (1), (2), (3) に答えよ．

(1) n 次の実行列 A が実対称行列かつ正値 (正定値) であるとき， $\langle \cdot, \cdot \rangle_A$ は次の (i), (ii), (iii) をみたすことを示せ (n 次の実対称行列 A が正値であるとは，任意の $x \in \mathbf{R}^n$ ($x \neq 0$) に対し， $x^t Ax > 0$ となることである．)

(i) 任意の $x, y \in \mathbf{R}^n$ に対し， $\langle x, y \rangle_A = \langle y, x \rangle_A$ である．

(ii) 任意の $x, y, z \in \mathbf{R}^n$ と任意の $a, b \in \mathbf{R}$ に対し， $\langle ax + by, z \rangle_A = a \langle x, z \rangle_A + b \langle y, z \rangle_A$ である．

(iii) 任意の $x \in \mathbf{R}^n$ に対し， $\langle x, x \rangle_A \geq 0$ である．また， $x \in \mathbf{R}^n$ に対し， $|x|_A := \sqrt{\langle x, x \rangle_A}$ と定義したとき， $|x|_A = 0$ となるのは $x = 0$ のときのみである．

(2) 3 次の実対称行列

$$A = \begin{pmatrix} 3 & -1 & 0 \\ -1 & 3 & 0 \\ 0 & 0 & 2 \end{pmatrix}$$

の固有値を求め， A は正値であることを確かめよ．また，Gram-Schmidt の直交化法を参考にして，

$$\langle u_i, u_j \rangle_A = \begin{cases} 1 & (i = j \text{ のとき}) \\ 0 & (i \neq j \text{ のとき}) \end{cases}$$

をみたす 1 組のベクトル $\{u_1, u_2, u_3\} \subset \mathbf{R}^3$ を作れ．

(3) 3 つのベクトル

$$b_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, b_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, b_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

に対し，

$$\langle b_i, b_j \rangle_A = \begin{cases} 1 & (i = j \text{ のとき}) \\ 0 & (i \neq j \text{ のとき}) \end{cases}$$

を満たす 3 次の正値実対称行列 A を求めよ．

問 題 紙

佐賀大学大学院工学系研究科

平成 19 年度佐賀大学大学院工学系研究科 (博士前期課程)
入 学 試 験 問 題

科目名

専 門 科 目

(そ の 三)

数 理 科 学 専 攻

3 次の問いに答えよ .

(1) 座標平面上の , 円弧 : $x^2 + y^2 = 1, x \geq 0, y \geq 0$ と x 軸および 2 直線 $x = 0, x = \frac{1}{2}$ とによって囲まれる部分の面積の値を求めよ .

(2) $\sqrt{1-x^2}$ を原点を中心とする整級数に展開せよ . そのとき , 収束半径と一般項を明示すること .

(3) (1) の面積の値が定積分 $\int_0^{\frac{1}{2}} \sqrt{1-x^2} dx$ の値に等しいことと (2) を用いて ,

$$3.14 < \pi < 3.15$$

が成り立つことを示せ . ただし , $\sqrt{3} = 1.7320\dots$ である .

問 題 紙

佐賀大学大学院工学系研究科

平成 19 年度佐賀大学大学院工学系研究科 (博士前期課程)
入 学 試 験 問 題

科目名

専 門 科 目

(そ の 四)

数 理 科 学 専 攻

4 正の数 α, β に対して ,

$$\Gamma(\alpha) = \int_0^{\infty} u^{\alpha-1} e^{-u} du,$$
$$B(\alpha, \beta) = \int_0^1 u^{\alpha-1} (1-u)^{\beta-1} du$$

とする .

(1) 正の数 α, β に対して ,

$$\Gamma(\alpha)\Gamma(\beta) = \Gamma(\alpha + \beta)B(\alpha, \beta)$$

が成り立つことを示せ .

(2) $D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 : x \geq 0, y \geq 0, x + y \leq 1\}$ とする . 正の数 α, β, γ に対して ,

$$\iint_D x^{\alpha-1} y^{\beta-1} (1-x-y)^{\gamma-1} dx dy = \frac{\Gamma(\alpha)\Gamma(\beta)\Gamma(\gamma)}{\Gamma(\alpha + \beta + \gamma)}$$

が成り立つことを示せ . ただし , 一般に $\iint_D f(x, y) dx dy$ は関数 f の D における重積分を意味し , $\iint_D f(x, y) d(x, y)$ と表わしている書物もある .